



自立して社会に貢献できる生徒の育成

南中だより



福山市立駅家南中学校

2026年(令和8年)

5月1日(金) NO.1

180名の新入生が「南中」の仲間になりました！



4月9日の入学式では、180名の新入生を迎えることができました。1年生の皆さん、ようこそ駅家南中学校へ。1年生の入学により、今年度は全校生徒497名でのスタートとなりました。生徒たちの、授業や体育大会、部活動等での元気な声や姿を見ると、本当に元気をもらい嬉しい毎日です。

今年度の学校教育目標は、『自立して 社会に貢献できる 生徒の育成』としました。その実現のためにいつも生徒たちには、「自立」とは何かしっかり考えて、中学校3年間で「自分の好きなこと」「やりたいこと」「こうありたい自分」を探すよう「自分探しは夢探し」という話をしています。

また、駅家南中学校で大切にしているのが8つの校風です。

- 教室・トイレ掃除の行き届いた学校
- あいさつのある学校
- 全員がチャイムが鳴り始まるまでに席に着き、ノートをとり忘れ物のない学校
- 部活動が活発な学校
- 掲示物に工夫がされている学校
- 服装・髪型の乱れた生徒のいない学校
- 家庭学習を推進している学校
- いじめをしない・させない・許さない学校

この校風を生徒たちと教職員が一丸となりさらに磨きをかけるよう全力を注ぎます。

そのためには、保護者のご協力は不可欠です。学校教育活動全体でこどもたちの「自立」に向けたご支援・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

《3年生の翼から》

- 私は校長先生の「夢を見つける」という話が特に心に残りました。まだ、大きくなってからやりたいことや行きたい高校など決まっていなかったので、この一年で見つけていきたいです。
- 私が一番いいと思った言葉は、「自分探しは夢探し」という言葉です。僕は今までそのような視点を持ったことがなかったので、自分の夢を見つけるためにもより自分を知るための努力をしようと思います。
- 今日の始業式で新しい校長先生が「遅刻せず休まず、学校へ来てください。授業を大切にしなさい。」とおっしゃったので、今年は、ここタンをする時間が加わるので、8時20分前には、学校につくように心がけ、体調管理もしっかりとして、毎日の授業を大切にしていきたいです。

「一生懸命」の体育大会でした！

4月25日には、体育大会がありました。南中の体育大会は、仲間と共に汗をかき、声をかり、共に「感動」を創り上げる、とても大切な学校行事です。

春休み中、「ソーラン節」や「応援合戦」の練習の音が校長室まで響きわたってきました。「もう体育大会へ向けての準備が始まっているんだ」と感じました。聞けば、3年生は、もう昨年度のうちから体育大会に向けて準備を進めていたようです。新学期からは、1・2年生もその輪の中に加わりました。練習やリハーサルで生徒に伝えたのは「一生懸命すること」の一言です。練習・準備・本番すべてにおいて運動な得意な人、苦手な人、けがをして競技できない人など、それぞれが「一生懸命」がんばった体育大会だったと思います。

応援合戦は「短時間でよくもこれだけ仕上げたなあ。」と感心しました。リーダーの熱い思いそれにこたえようとするみんなの「一生懸命」の姿は、見ている多くの人達に、感動を与えるものでした。これまでの教員生活の中で経験したことのない応援合戦でした。本当にすごかったです。

圧巻は、3年生の「ソーラン節」です。一生懸命踊る姿、それを目の前で応援する2年生のまなざし、どれも「一生懸命」でかっこよかったです。

この体育大会を通して、これからの行事も学年やクラスを超えた絆はさらに強くなり、輝くような感動の瞬間が得られることを期待しています。その感動を手に入れるためには、何よりも「一生懸命」に取り組むことが大切です。南中生としての自信と自覚と誇りをもって頑張ってください。

「一生懸命」の体育大会

「やればできる君たちだから」「やってできた君たちだから！」



<体育大会を終えて 生徒の声>

- 体育大会を通して、仲間と協力する大切さを学びました。競技の中でも1年生の学年種目や大縄は、クラスで協力しないとできないこともたくさんあったと思います。応援でも優勝することができてよかったです。来年はリレーに出られるように頑張りたいです。(1年生)
- 私たち1年生は足を引っ張っていた時もあったのに団長や南中リーダーの方が丁寧に教えてくれました。先輩方は私たちが失敗しても「大丈夫」「次があるよ」と声をかけてくれてうれしかったです。(1年生)
- 練習時間が短かったのに、3年生や南中リーダーさんたちが引っ張ってくれて本当に素晴らしい体育大会になったとも思った。一人一人が協力するかしないかで、完成度が違うということが最初と最後で分かった。(2年生)
- まだ進級したばかりなのに3年生が1年生を引っ張っている姿を見て、自分も来年は後輩を引っ張っていけるようになりたいと思った。(2年生)
- 今まで、あまり人前に出て発言するようなことはなかったけど、南中リーダーになって自信がついて、むしろ発表したいと思えるようになりました。(3年生)
- 今日は、体育大会が終わっての学校でした。「なんか、終わったんだなあ」と思うと少し悲しいです。もう一回、4月上旬からやり直したいです。今年は、「くやしくて泣いてしまうほど精一杯頑張ったんだなあ」と感じる事ができました。こんな一生懸命やろうと思わせてくれた、みんなに感謝したいです。(3年生)